

Profile



あいざわ なおと
客演指揮者 相澤直人

1978年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科・指揮科の両科で8年間の研鑽を積み、在学中より演奏活動を始める。

2007年には「あい混声合唱団」の立ち上げと同時に音楽監督に就任。様々な企画やコンクールへの出場、演奏会出演など、幅広い活動を展開。特に古典から現代に至る邦人作品において、その解釈や表現に高い評価を得ている。

現在、あい混声合唱団、女声合唱団ゆめの缶詰、AZsingersなど、10以上の団体で音楽監督、常任指揮者を務める他、各地から客演指揮者としての招聘も多い。2016年にはカーネギーホール(ニューヨーク)での演奏も成功を収め、各種メディアなどで紹介された。また、カヴィ出版、音楽之友社等から多くの作品が出版されており、作曲家としても活躍中。「シンプルで口づきやすい旋律に、洗練された和声が付けられている」と評される小品主体の作風が特徴。編曲作品も多い。

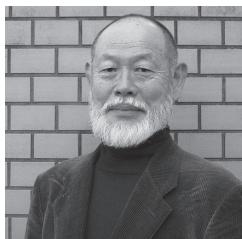
2017年には中国、上海から作曲家としての招聘があるなど、今後も国内外に留まらず、世界での活躍が期待されている。著書に「合唱エクササイズ アンサンブル編」1~3巻、「合唱エクササイズ 指揮編」1~2巻(共著)。「必ず役立つ合唱の本 ボイストレーニングと身体の使い方編」監修(著:北條加奈)。

JCDA日本合唱指揮者協会、及び東京都合唱連盟理事。ACDAアメリカ合唱指揮者協会会員。ニューヨーク合唱フェスティバル・シニアアドバイザー。洗足学園音楽大学声楽アンサンブルコース、及び作曲コース非常勤講師。

しんえそん
バイオリン 申愛聖

東京都出身。6歳よりバイオリンを始める。桐朋学園「子供のための音楽教室」修了。国内外でも研鑽を積む。東京音楽大学、同大学研究生修了。2009年東京シティフィルハーモニック管弦楽団と共に演。『オベラ座の怪人』『ミス サイゴン』『レ ミゼラブル』など多数のミュージカルに参加のはか、アーティストのサポート、ドラマや映画音楽などのスタジオレコーディングに携わる。

2016年ヤマハミュージックメディアより出版された『ボブ佐久間の弦楽四重奏 コンサートレポートリー』監修。最近では2017年に行われた東京FM『ジェットストリーム』放送50周年記念スペシャルコンサートにてコンサートミストレスを務めた。



いしなべたかし
ナレーター 石鍋多加史

東京都出身。1988年「スター・シャイン」(奈良橋陽子演出)で初舞台。主な出演作品は、「キャバレー」(シュルツ役)、「屋根の上のヴァイオリン弾き」(アブラム役)、「ラ・マンチャの男」(神父役)、「ビノキオ」(ジェベット爺さん役)、「シークレット・ガーデン」(庭師ベン役)などのミュージカル、「THE WINDS OF GOD」(分隊長役/91年文化庁芸術祭受賞)、「ヘッダ・ガーブラー」(ブラック判事役)、「かもめ」(ソーリン役)などのストレートプレイ、「夢十夜」「涙い海」「ペロ出しチヨンマ」「イノック・アーデン」などの語り、「ロフト」(黒沢清監督)、「灯りのともす先」(田嶋直子監督)などの映像で幅広く活動。

二期会会員。



ひもとひでかず
常任指揮者 楠本英一

1954年、東京都生まれ。東京藝術大学声楽科および指揮科を卒業。

声楽を畠中良輔、平野忠彦、大久保昭男、指揮を伊藤栄一、金子登、遠藤雅吉、マルティン・メルツァー、佐藤功太郎の各氏に師事。指揮科在学中に安宅賞を受賞。84年中国政府の招聘により、北京、西安、上海で演奏。翌年、ニューヨーク・カーネギーホールにおける東京・ニューヨーク姉妹都市提携25周年記念

「シルバープリッジコンサート」を指揮し、ニューヨーク・タイムズ紙で高い評価を得る。

オペラでは、81年「喪服」(石橋真礼生作曲)、84年「魔笛」を指揮した後、日本オペラ協会、新国立劇場等で数多く指揮。

合唱では、早稲田大学グリークラブ、武藏野合唱団、東響コーラス、慶應義塾ウゲネルソサイエティ女声合唱団、青山学院大学グリーンハーモニー合唱団などを指揮。

ヘンデルの「メサイア」、モーツアルトの「レクイエム」、「戴冠式ミサ」、ヴェルディの「レクイエム」など、オーケストラ共演による合唱曲の指揮も多い。

90年より07年まで東京混声合唱団のコンダクター・イン・レジデンスを務める。

02年1月、当団の常任指揮者に就任。



さとうきり
ピアノ 佐藤季里

東京藝術大学付属高校を経て、同大学ピアノ科卒業。別科オルガン科修了。

ピアノを故・安川加寿子、梅谷進、パイプオルガンを島田麗子の各氏に師事。在学中よりアンサンブルピアニストとして活動。1998年より当団専属ピアニスト。

2013年の当団定期演奏会におけるリヒャルト・シュトラウス作曲の歌曲「愛の詩集」、2014年9月の酒田演奏会、11月の定期演奏会における「秋の詩集」、2015年1月伊丹での

JAMCA関西合同演奏の3回にわたる鈴木憲夫作詞作曲「永久二」の演奏は、原曲の持つ甘美さや男声合唱の力強さを余すところなく表現し好評を博した。また2016年10月の訪韓演奏会、11月の定期演奏会での信長貴富作曲の「新しい歌」の演奏は、繊細なタッチとダイナミックさを兼ね備え、国内外の聴衆を魅了したことは記憶に新しい。

現在12の合唱団の常任ピアニストを務めるかたわら、ピアノ、オルガン共にこなすプレイヤーとして数多くの合唱団と共に活動している。また、声楽、管打楽器、弦楽器との共演、オペラ、バレエのコーチピアニスト、オーケストラ、吹奏楽団の鍵盤奏者としても活躍中。



バリトン、
ヴォイストレーナー 移川澄也

1942年旧満州にて生まれる。高校時代の合唱活動が機縁になり、東京藝術大学声楽科に進む。

中山悌一に師事。安宅賞を受け、芸大メサイア独唱者、読売新人演奏会出演者に選ばれる。

R・リッチャの指導により、在学中バスよりバリトンに転向。これが声楽発声法を考える発端となり、以後現在に至るまでヴォイストレーニングの研究を続けている。

卒業後ヴォイストレーナーとしての活動の傍ら二期会

研究生を修了しイタリアに渡る。主にミラノのL・ベッロンの下で研鑽を積み帰国。演奏活動とトレーナーの仕事を再開。多くの歌い手や合唱団を指導。その中から現在声楽界の中心で活躍する者や、合唱コンクールで全国制覇を毎年なし遂げた団体も現れた。ターフェルの団員にも徐々に先生の発声法と歌唱法が浸透しつつある。

「晴れ舞台」持っていますか？人生に「晴れ舞台」を!! 当団では一緒に歌いながら創造し、音を楽しむ仲間を募集しています。

練習日と練習会場

- ①毎週木曜日19:00~21:30 増上寺付属明徳幼稚園講堂
- ②第3日曜日13:00~17:00 文京区立第一中学校視聴覚教室
- ③その他、パート練習、演奏会の為の合宿、ゲネプロ、臨時練習などがあります。

※日程や練習場所は変更する事があります。事前にご連絡ください。

会費

入会金：3,000円

年会費：月々5,000円(一括払い55,000円)

高校生・大学生は学生割引あり。

楽譜・演奏会負担金：別途必要となります。

活動

毎年の定期演奏会

日本男声合唱協会(JAMCA)の演奏会

海外との交流演奏会(ドイツ・韓国・台湾など)

国内地方演奏会や合唱祭



公開ヴォイストレーニングのお知らせ

当団でのヴォイストレーニングを公開します。

お気軽にご参加ください。

●ヴォイストレーナー：移川澄也先生

●練習日時：奇数月の第3日曜日午前10時30分~12時

●練習会場：文京区立第一中学校視聴覚教室

●対象：学生及び社会人の合唱経験者

●参加費：無料